

まちの ニュース

青年海外協力隊員 表敬訪問

JICA（ジャイカ、独立行政法人国際協力機構）の第2次青年海外協力隊事業に本町の山下和也さん（27歳・虎居出身）が参加することになり、出発に際し、11月24日に役場を表敬訪問されました。

山下さんは、アフリカ南東部のマラウイ共和国に派遣され、マンゴチ県のリスンビユイ中学校で理数科教師として2年間、勤務される予定です。

「日本の代表として意識を高く持ち、自分で実際に体験しながら、未来のマラウイ、そして日本のために少しでも貢献したい。」と力強く抱負を話され、また町長も「頑張ってください。」と声援を送りました。

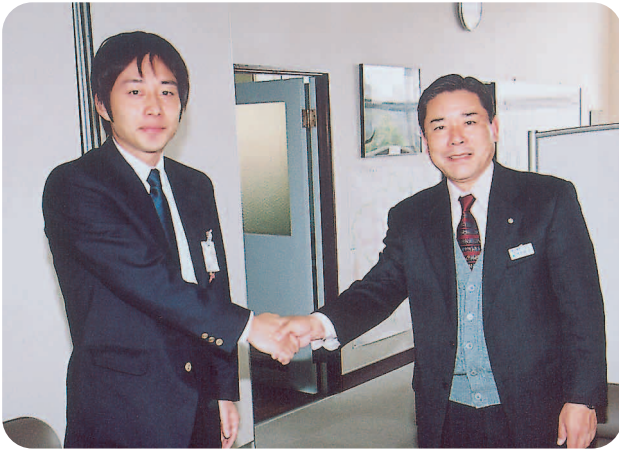
公民会合併調印

「湯田上公民会が誕生」

11月24日、湯田区公民館の「上の公民会」と「宮下公民会」の公民会合併調印式が行われ、18年4月から「湯田上公民会」が新たに誕生します。

この合併により町内の公民会数は、153公民会となります。

公民会合併に関する問い合わせは、総務課行政係（各総合支所は総務管理課総務係）をお願いします。



力強く握手する町長と山下さん



必死に山道を歩く宮之城警察署の署員

豊臣秀吉が通った 山道を体験

11月23日、宮之城警察署の署員が「400年前に豊臣秀吉が通った山道」を歩きました。

これは、同署の健康づくりを兼ねて歴史を知る目的で企画されたもので、町の歴史に詳しい淵之上三男さん（屋地）の協力を得て行われました。

署員12人が参加し、宮之城屋地から船木まで5キロの険しい山道を、前日に淵之上さんが張った赤いテープを頼りに、木々をかき分けたり、斜面をはいつくばって登ったりしながら約3時間かけて歩きました。

町戦没者追悼式

11月16日、「さつま町戦没者追悼式」が宮之城文化センターでしめやかに行われました。

追悼式は、戦没者の遺族や町関係者などが見守るなか、井上町長や瀬戸口信夫町遺族会会長からそれぞれ「追悼のことば」が述べられました。

その後、「献詠」や「鎮魂の舞」、関係者による「献花」が行われ、戦没者を追悼しました。



追悼の言葉を述べる瀬戸口会長